

# 福祉

## 国立精神・神経センター 武蔵病院の新病棟

**鴨打喜久男議員(政和)** ①心神喪失状態で重大な他害行為を行った者が入院するという新病棟の運営システム、入院者数、開棟時期、医療人員体制は、  
②退院後にそのまま地域に住むのではないかと不安があるが地域住民に対する説明は、  
③市報などを通して、新病棟の説明をすべきではないか。

**市長** ①安全面では、閉鎖病棟とすることで万全を期し、病床は予備を含めて33床で、平成17年7月中旬の工事完了後に開棟予定と聞いている。また、医師4人、看護師44人等のスタッフは専任で、一般病院基準より手厚い配置と聞いている。  
②退院するときは出身地域に戻り、そこで通院しながら社会復帰することになっている。  
③必要に応じて、病院と連携しながら広報していきたい。

**高年齢者の移動手手段確保策としてタクシーを活用するべきでは**  
**常松大介議員(緑ネ)** ①高齢者等の移動制約者の実態をどのように認識しているか。  
②高齢者の自転車による事故等の実態やその対策は、  
③市内タクシー会社の車両台数、実車率の状況は、  
④当面の対策として、高齢者がタクシーで移動する際に部分的な補助が必要ではないか。

**市長** ①施設の送迎バス、民間福祉タクシー、市で運行する福祉バス、移送サービス等を利用していていると思われる。

②平成16年中に65件である。小平警察署で講習会等を実施し、事故防止に努めている。  
③車両台数は176台と聞いている。一部の市を除いた三多摩地域の平均実車率は、平成15年が49%で、市もほぼ同様の傾向と推測している。  
④市の各種サービスのほか、民間事業者等の福祉有償連送などもあり、補助は考えていない。

**音声誘導システムを取り入れたまちづくり**  
**津本裕子議員(公明)** ①視覚障害者の外出を助ける市の施策は、  
②音声誘導システムが取り入れられている箇所と利用状況は、  
③近隣市の状況や動向に対する市の考えは、  
④公共施設、駅前等に設置すべきと考えるがどうか。

**市長** ①支援費制度におけるガイドヘルプ、白いつえの給付、施設及び市道における点字ブロック設置等がある。  
②市庁舎、あおぞら福祉センター、市民文化会館等6施設があるが、利用は少ないと考える。  
③立川市、東久留米市が導入しているが、利用者は少ないと聞いている。  
④これからの公共施設には、極力設置する考えである。

**ホームヘルプサービスの利用者負担金の支払い方法**  
**浅倉成樹議員(公明)** ①納付書により、金融機関等に直接納める方法では、外出が自由な利用者などにとっては困難な場合があるため、銀行口座からの引き落としなど、支払い方法の拡大ができないか。  
②支払い方法の拡大要望は、市に届いているか。

**市長** ①この事業は、自分のこととある程度でき、介護保険サービスの対象とならない自立支援高齢者への軽度の家事サービス提供である。負担金の納付は、基本的に利用者が対応できると考える。ただし、利用者自身で困難な場合、納付書の送付先を親族等に変更するなどの対応をしている。支払い方法の拡大は、今後内部で調整を進めていきたい。  
②年に数人から問い合わせがある。

**福祉有償輸送の運営協議会設置**  
**岩本博子議員(緑ネ)** ①運営協議会の設置は1市と広域で行う方法があるが、市の考えは、  
②近隣自治体の動向は、  
③今後のスケジュールは、  
④新年度に開催予定の総合的な交通体系のあり方懇談会とリンクさせる考えはあるか。

**市長** ①現時点では単独設置の考えだが、共同設置の方が利用者の利便性が向上するという考えもあるため、今後慎重に検討したい。  
②多摩26市中、単独設置が3市、共同設置希望が12市、未定が11市である。  
③平成18年3月までの準備期間中に、設置から運輸支局の許可に至るまでの事務が終了するよう、早急に決定していく必要があると考える。  
④現時点では考えていない。

**安心で、きる 介護保険に改善を**  
**木村まゆみ議員(共産)** ①国は介護保険法でガイドラインを示すが、実施主体である市は独自性や特徴をどう示すのか。  
②いわゆるホテルコストの導

入による市民への影響は、  
③利用限度額が引き下げられることだが、限度額を超えている利用者の実態は、  
④認知症高齢者グループホームの現状と今後の見通しは、  
⑤介護予防のための地域支援事業の具体的な計画は、  
**市長** ①平成17年度に介護保険事業計画検討委員会を設置する等の中で、諸課題の検討を行う。  
②正確な把握は困難だが、約700人の負担額がふえたと考える。

**都市整備**  
**橋本久雄議員(緑ネ)** ①既に一部でマンション建設が始まっているが、大規模な計画で周辺住民やまちづくりに大きな影響を与えることは必至である。全体の説明をするよう事業者に働きかけているか。  
②周辺住民にどのような影響が出るかと思ふか。  
③第十小学校の児童は何人程度ふえると予想しているか。  
**市長** ①周辺住民に対し、早期に事業内容を説明するよう要請している。また、平成17年2月

**▲マンション建設工事現場(上水本町五丁目)**  
**齋藤敦議員(フオ)** ①平成16年9月定例会で、コミュニティバスが本格運行となった場合は、今の路線についてだけ本格運行ということではなく、路線をふやしていく方向にならざるを得ないとの発言があったが、財源も含めてどのように考えているのか。  
②試行運行と言いつつ、5年間同じ地域にバスを走らせることは、特定地域への偏った利益へのサービスにならないか。  
**市長** ①試行路線の本格運行への移行及び他地域への展開については、今後試行運行の検証を

踏まえ、検討していきたい。  
②正確なコストの把握、沿線住民の意向等、導入効果を具体的に見きわめるため1地域での試行運行を行っているもので、偏った利益へのサービスとは考えていない。しかし、他地域からの運行要望も多いので、試行運行の評価と並行し、市全体の交通体系のあり方も検討したい。  
**都市計画道路**  
**佐野都夫議員(政和)** ①これまでの整備状況は、  
②今後の整備の見通しは、第三次長期総合計画では、どの程度動員されるのか。  
③今後、どう市民へ情報提供をしていくか。  
**市長** ①平成16年3月末における整備率は、34.3%である。  
②都市計画道路3・4・7号線(新小金井街道)の車道部分と、花小金井駅北口の都市計画道路3・4・16号線が来年度末までに完了する予定である。現在の後期基本計画と同様の

位置づけとなり、事業の進捗状況を見ながら実施計画の中で検討していく。  
③計画策定時に市報等を利用して、広く周知を図るとともに、個々の事業の実施に当たっては、地元説明会等を行い、理解と協力を求めていきたい。  
④工事が進む都市計画道路3・4・7号線(天神町二丁目)

この土地の開発決定までの経過にどんな違いが出るのか。  
②開発許可権を持つ都に対し、新条例はどんな効力があるのか。  
③今後の予定は、  
④もう少し俯瞰的な視点で開発事業をとらえる必要があるのではないか。  
**市長** ①土地取引行為や土地利用構想の届け出等、新条例の新たな規定がすべて適用される。  
②都市計画法に基づく規定である公園・緑地及び最低敷地面積の基準である。  
③具体的な計画が出されていないので、把握していない。  
④今後は周辺の土地利用も考慮して協議を行うことになるので、ある程度俯瞰的な視点ととらえることができると考える。

**高齢の方、障害の方のための生活交通の確保を**  
**立花隆一議員(公明)** ①新年度に設置する総合的な交通体系のあり方懇談会の内容は、  
②昨年の一般質問で、自動車の送迎バスによる高齢者等

**掲載分以外の質問項目**  
小平市は防火防災対策戦略プランをどのように活用する予定なのか  
小学校区ごとに安全マップの作成を

**掲載分以外の質問項目**  
④今後の検討課題としたい。

**掲載分以外の質問項目**  
③昨年12月に西武バスが運行している小平市、西東京市、東村山市、東大和市の4市で協議会を立ち上げた。

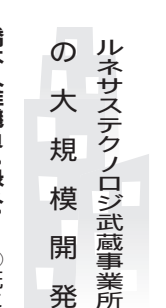
**掲載分以外の質問項目**  
②総合的な交通体系のあり方懇談会の中で検討したい。

**掲載分以外の質問項目**  
①にじバスの評価も含め、改めて市内における交通体系について検討する。

**掲載分以外の質問項目**  
③今年12月に西武バスが運行している小平市、西東京市、東村山市、東大和市の4市で協議会を立ち上げた。

**掲載分以外の質問項目**  
④今後の検討課題としたい。

# 都市整備



▲工事が進む都市計画道路3・4・7号線(天神町二丁目)

**新条例と旧アキサ花小金井グラウンドの開発**  
**苗村洋子議員(緑ネ)** ①本年4月に施行される、小平市開発事業における手続及び基準等に関する条例があることにより、

**生活交通の確保を**  
**立花隆一議員(公明)** ①新年度に設置する総合的な交通体系のあり方懇談会の内容は、  
②昨年の一般質問で、自動車の送迎バスによる高齢者等

**市長の考える コミュニティバス構想**  
**齋藤敦議員(フオ)** ①平成16年9月定例会で、コミュニティバスが本格運行となった場合は、今の路線についてだけ本格運行ということではなく、路線をふやしていく方向にならざるを得ないとの発言があったが、財源も含めてどのように考えているのか。  
②試行運行と言いつつ、5年間同じ地域にバスを走らせることは、特定地域への偏った利益へのサービスにならないか。  
**市長** ①試行路線の本格運行への移行及び他地域への展開については、今後試行運行の検証を

踏まえ、検討していきたい。  
②正確なコストの把握、沿線住民の意向等、導入効果を具体的に見きわめるため1地域での試行運行を行っているもので、偏った利益へのサービスとは考えていない。しかし、他地域からの運行要望も多いので、試行運行の評価と並行し、市全体の交通体系のあり方も検討したい。  
**都市計画道路**  
**佐野都夫議員(政和)** ①これまでの整備状況は、  
②今後の整備の見通しは、第三次長期総合計画では、どの程度動員されるのか。  
③今後、どう市民へ情報提供をしていくか。  
**市長** ①平成16年3月末における整備率は、34.3%である。  
②都市計画道路3・4・7号線(新小金井街道)の車道部分と、花小金井駅北口の都市計画道路3・4・16号線が来年度末までに完了する予定である。現在の後期基本計画と同様の

位置づけとなり、事業の進捗状況を見ながら実施計画の中で検討していく。  
③計画策定時に市報等を利用して、広く周知を図るとともに、個々の事業の実施に当たっては、地元説明会等を行い、理解と協力を求めていきたい。  
④工事が進む都市計画道路3・4・7号線(天神町二丁目)

この土地の開発決定までの経過にどんな違いが出るのか。  
②開発許可権を持つ都に対し、新条例はどんな効力があるのか。  
③今後の予定は、  
④もう少し俯瞰的な視点で開発事業をとらえる必要があるのではないか。  
**市長** ①土地取引行為や土地利用構想の届け出等、新条例の新たな規定がすべて適用される。  
②都市計画法に基づく規定である公園・緑地及び最低敷地面積の基準である。  
③具体的な計画が出されていないので、把握していない。  
④今後は周辺の土地利用も考慮して協議を行うことになるので、ある程度俯瞰的な視点ととらえることができると考える。

**掲載分以外の質問項目**  
小平市は防火防災対策戦略プランをどのように活用する予定なのか  
小学校区ごとに安全マップの作成を

**掲載分以外の質問項目**  
④今後の検討課題としたい。

**掲載分以外の質問項目**  
③昨年12月に西武バスが運行している小平市、西東京市、東村山市、東大和市の4市で協議会を立ち上げた。

**掲載分以外の質問項目**  
②総合的な交通体系のあり方懇談会の中で検討したい。

### 一般質問のまとめ

平成15年6月定例会～平成17年3月定例会

質問者数・件数			項目別件数		
定例会名	質問者数	質問件数	項目	件数	
15年6月	23	64	行政一般	79	
15年9月	21	55	教育・文化	64	
15年12月	24	61	都市整備	58	
16年3月	24	60	福祉	48	
16年6月	23	54	道路	40	
16年9月	21	56	公共施設	37	
16年12月	22	50	環境・上下水	30	
17年3月	21	51	児童・女性	29	
合計	179	451	公園・用水	19	
平均	22.4人	56.4件	防災	19	
			医療・健康	16	
			産業振興	12	
			合計	451件	

#### 項目別割合

構成比は四捨五入して表示

項目	割合
行政一般	17.5%
教育・文化	14.2%
都市整備	12.9%
福祉	10.6%
道路	8.9%
公共施設	8.2%
環境・上下水	6.7%
児童・女性	6.4%
公園・用水	4.2%
防災	4.2%
医療・健康	3.5%
産業振興	2.7%